

2019年度 グリフィス大学春季英語研修報告書

2020年2月5日(水)～2020年3月7日(土)

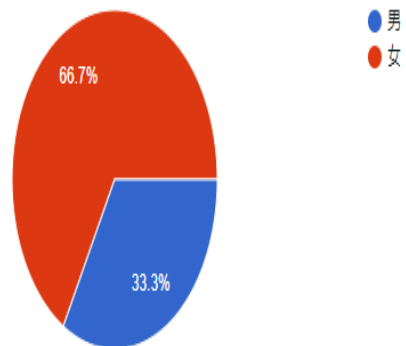
参加人数 24名

2019年度 グリフィス大学春季英語研修 報告書 目次

1. 性別	23. 滞在した部屋について
2. 学年	24. ホームステイ中に起きた問題や困ったこと、その解決方法
3. 参加プログラムを知ったきっかけは、何ですか？	25. ホームステイで印象に残ったこと、感想、来年度参加者へのホームステイに関するアドバイスなど
4. 2019年7月1日（月）の春季英語研修説明会に参加しましたか？	26. グリフィス大学への通学手段、時間、費用（AUD）
5. プログラムへの参加を希望した理由は何ですか？	27. 通学方法はどのように確認しましたか？
6. プレイメントテスト（クラス分けテスト）について	28. 研修全体の費用について
7. プレイメントテストは、どのように行われ、どのような問題が出題されましたか？	29. 研修中の食費に大体いくら（AUD）使いましたか？
8. 自分のクラス（レベル）は何でしたか？	30. 朝食・昼食・夕食について、それぞれどのような場所で何を食べましたか？
9. クラスのレベルの満足度	31. 航空券、プログラム費用、保険、食費以外に、現金・クレジットカードでそれぞれ大体いくら(AUD)使いましたか？
10. クラスが一番多い時は（自分を含め）何人いましたか？	32. 上記は何の費用でしたか？具体的に書いてください。
11. クラスに立教生は（自分を含め）一番多い時は何人いましたか？	33. 日本から持参した電化製品を教えてください
12. クラスには、立教生の他にどのような国・学校の人が何人参加していましたか？	34. 持参すればよかったと思ったもの（電化製品、その他のもの）
13. 授業内容についての満足度	35. 持参したが不要だと思ったもの（電化製品、その他のもの）
14. 授業はどのように進められ、どんな様子でしたか？	36. レンタルWi-Fiを使用した感想
15. よいと思った授業内容について教えてください	37. 日本の家族、友人との連絡手段
16. 改善してほしいと思った授業内容について教えてください	38. 自由時間（放課後、週末など）について
17. North Stradbroke Island Excursionの内容と感想	39. 危機管理（研修中、危険な目に遭ったこと、避けたほうがよいと思った地域や時間帯など）
18. 研修期間（4週間）についての感想	40. 他の学生に、本プログラムへの参加をすすめますか？
19. 滞在した家族の名前（姓）を教えてください	41. 上記の回答（「すすめる」「すすめない」「どちらでもない」）の理由を書いてください。
20. ホストファミリーの家族構成	42. 来年度参加者へのアドバイス
21. 現地でのホストファミリーとの連絡手段	43. 英語力について
22. ホストファミリー宅での時間の過ごし方	44. 研修を通じて発見したこと、学んだこと、自分が成長したと思う点など

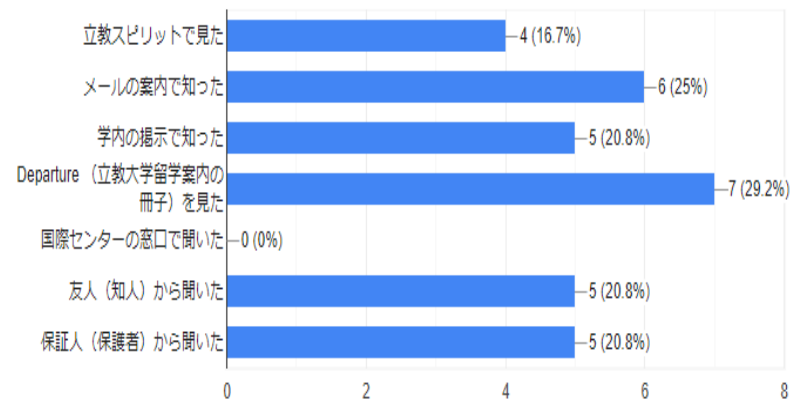
1. 性別

24 件の回答



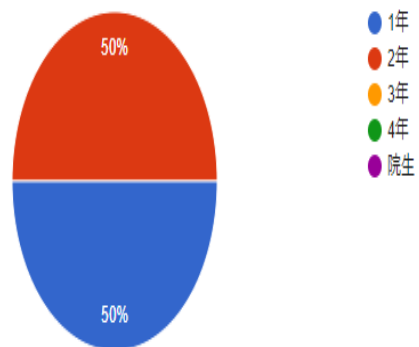
3. 参加プログラムを知ったきっかけは、何ですか？

24 件の回答



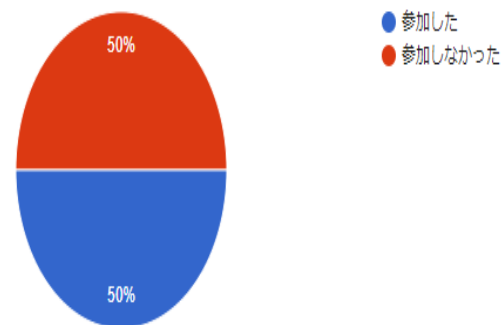
2. 学年

24 件の回答



4. 2019年7月1日(月)の春季英語研修説明会に参加しましたか？

24 件の回答



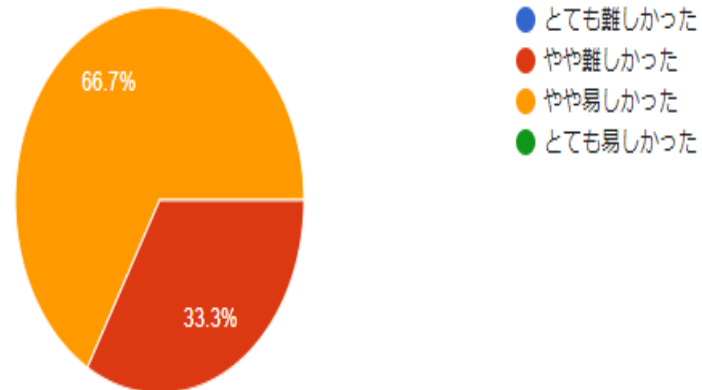
5. プログラムへの参加を希望した理由は何ですか？

※複数回答可

研修先大学のある場所(国)が魅力的または興味があった	14人
時期、期間が自分の都合に合っていた	13人
ホームステイを試してみたかった	9人
長期留学をする前に短期留学を試してみたかった	8人
研修先大学のある場所(国)が治安がよい	7人
研修内容(授業内容)が魅力的または興味があった	4人
保証人(保護者)にすすめられた	3人
英語を使わないといけない環境に身を置きたかったから	1人
自由時間が多い	0人
費用が安い(妥当である)	0人

6. プレイメントテスト (クラス分けテスト) について

24件の回答



7. プレイメントテストは、どのように行われ、どのような問題が出題されましたか？

インターネットで行った。選択式の問題が約70問。時間は60分。テストでは、文法、同義語、言葉の使われ方などが問われた。

オンラインテスト、制限時間60分、文法語彙問題

穴埋めや選択問題

webで、語句、文法などに関する問題

ネットでテストを行った。内容はTOEICの様な形式だった。

パソコンで、グリフィス大学独自の問題が出題された。

簡単な文法問題 オンラインテストで

自宅のパソコンで自分のやりたい時にできた。内容は、文法問題が主だった。

出発前に日本でWEB上のテストだった。問題内容は基本～やや発展程度の文法問題

基本的な文法問題や短い読解

各自、自分のパソコンを用いて行った。基本的な文法問題が多く、穴埋め形式の選択問題だった。

文法や正しい言葉の組み合わせ、同じ意味の文章を選ぶなどの問題が全て選択式でオンラインで行われた

ネット上で行われ、四択の文法問題が出題された。

オンラインで、問題は選択式でした。

文法と語彙に関するもので選択式でした。

パソコンで四択の中から一つ答えを選ぶ形式。内容は文法、コロケーション、ボキャブラリーなど。

ネット上で選択式の文法問題に解答しました。

ウェブテストで文法問題が主に出題された

ウェブ上で行われ、基本的な文法や意味を問う問題が出題された。

オンラインで行われ、リーディングや文章の穴埋めのような問題が出題されました。

インターネットで行われ、単語や文法の問題が出題されました。

パソコンで行われ、高校レベルのテストが出題された

オンラインで語彙力や文法を問われる

インターネットテストで出題。選択肢問題。コロケーションなどの問題。

8. 自分のクラス(レベル)は何でしたか？ ※DEP7が一番高いレベルです(語尾のアルファベットはレベルに関係ありません)

DEP6

DEP5

DEP5E

6

DEP5

6B

5D

5C

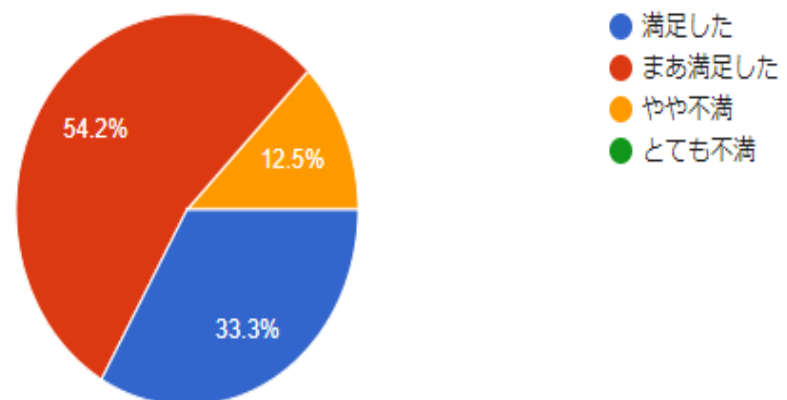
DEP6C

DEP4A

DEP6
DEP 6
6 D
Dep4b
5C
6 A
DEP5
DEP5
4 B
4a
DEP5B
dep4c
4c
6 B

9. クラスのレベルの満足度

24 件の回答



10. クラスは一番多い時は（自分を含め）何人いましたか？

14人
18
15
16人
19
14
18人
18
14人
18
15人
13人
16
18人
18
15人
18人
24
17人ほど
18
18人
18
17人
14人

11. クラスに立教生は（自分を含め）一番多い時は何人いましたか？

2人
2
2
3人
2
2
2人
2
2人
2

3人
2
3
2人
2
3
1
2
2
2
2人
2
2
2人
2人
12. クラスには、立教生の他にどのような国・学校の人が何人参加していましたか？
中国→6人 台湾→2人 ベトナム→1人 モンゴル→1人 日本→4人（立教2人、京都の学生1人、グリフィスの学生1人）
創価大学、追手門学院大学、松山大学、同志社大学、獨協大学、藤女子大学、ベトナム、タイ、コロンビア、中国
中国人が5人ほど
中国人、タイ人、バングラデシュ人、モンゴル人
ベトナム1人、中国4人、台湾1人、モンゴル1人、日本（創価5人、東京国際2人、藤女子1人、大手門2人）
中国、韓国、モンゴル、コロンビア、エクアドル
ペルー人 中国人 ベトナム人 追手門学院大 東京国際大
中国人、ベトナム人、スイス人、韓国人、北海道、大阪、東京、埼玉の大学生達
中国人が8人（うち台湾2人）日本人2人（1人は京都外語大もう一人は現地の大学に進学志望）モンゴル人1人ベトナム人1人
中国人2人、モンゴル人1人、コロンビア人1人、日本人12人
モンゴル(1人)、タイ(1人)、バングラデシュ(1人)、中国(6人)、日本(3人+立教生3人)
日本人大学生2人、韓国人留学生1人、中国人留学生5人、コロンビア・フィリピン・タイ人留学生1人ずつ
中国人6人、韓国人1人、タイ人1人、ベトナム人1人、コロンビア人1人、現地滞在三か月目の日本人2人
大阪、北海道、埼玉の大学生12人と中国人が3人と台湾人が1人
中国3人 韓国1人 ベトナム1人 スイス1人 日本12人 創価大、追手門学院大、独協大、藤女子大
タイ、中国、モンゴル、バングラディシュ、日本（大阪、秋田の大学）
他大学10人、中国3人、モンゴル1人、ベトナム1人、トルコ1人、オマーン1人
追手門1 藤女子1 東京国際1 創価4 中国3 ベトナム1 スペイン1 など
中国人3人、東南アジア系1人、同じ日本でも様々な地域の人があった
中国人2人、モンゴル人1人、コロンビア人1人、東京国際大学3人、ふじ女子大学4人、追手門大学5人
ベトナム人1人、タイ人1人、コロンビア人1人、中国人3人、日本人12人

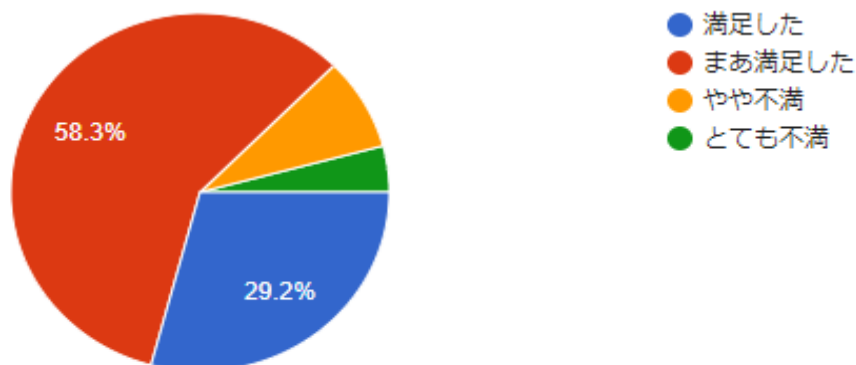
中国人が2人ベトナム人が1人

ほとんどが日本人大学生で、中国人が2人、ベトナム人が1人

中国、韓国、モンゴル、コロンビア、エクアドル

13. 授業内容についての満足度

24 件の回答



14. 授業はどのように進められ、どんな様子でしたか？

毎週テキストが配られ、それに沿って授業が進められる。Reading, Writing, Listening, Speakingの四技能全ての学習をする

毎日：リーディング、リスニング、スピーキング 週一：ライティング

静かで手を挙げて答えている人が多かった

立教の必修のリーディング、ライティング授業に似ていた

ポキャブラリー、リスニング、スピーキング、ライティングをメインに教科書等を使い進められた。

テキストを使って、リーディング・リスニング・ライティング・スピーキングをした。先生はプロジェクターを使って答え合わせなどをした。

スピーキング リスニング ライティング リーディングを全体的に勉強した

立教のR&Wの授業と似ていた。先生が説明した内容に基づいて問題を解いていくというような形式だった。

毎週配られるテキストに従って読む、聞く、話す、書くを万遍なく学習する授業だった。

生徒が積極的に発言する双方向の授業だった。

基礎的な文法やパラグラフの書き方、ペアワークなど生徒に答えさせながら全員が参加できるような授業だった。

100分の授業を2コマ行いました。間には30分の休憩を挟みました。1週間ごとにテキストが配られ、Reading、Listening、Writingを全て強化する授業内容でした。私の先生は比較的生徒に発言を求めることは少なかったですが、数人でのディスカッションをすることはありました。4週間で提出物は3つ、テストは3つありました。

ライティングをたくさんやった、その他はグループワークが多くテーマに沿った意見交換をしたり、動画を見てノートテイキングを学んだ。最後には二人1組になってプレゼンをした

毎週冊子が配られそれに沿って授業が行われる。私たちのクラスは最初に自己紹介がなかったので、授業中や休み時間に質問しあってお互いをしていった。終始笑いもあり、和やかな雰囲気であった。年齢は様々であったが、授業中会話の時間が多かったので仲良くなれた。全体的にペアワークが多く、最初はそれぞれの発音に癖がありお互い聞きとるに苦労したが、次第に慣れてきて会話も弾むようになった。ライティングでは、先生が書き方の解説をして、その後個人で書いた。

メインは文法を習い、その後はゲームしたりしました。

リーディング、ライティング、リスニングをバランス良く進めていた。また会話をする時間も設けられていた。

週ごとにオーストラリア、アジア、ヨーロッパなどのテーマが決まっていて、その内容について授業が展開された。最初はボキャブラリーを学び、次から文章を読んだり、アカデミックな文章の書き方を学んで実際にエッセイを書いた。基本的に英語でたくさん話すことが英語を学ぶ上で大切ということで問題が解き終わったら周りとのディスカッションした。

環境問題などについての英文を読んだり聞いたり話し合ったりということがほとんどでした。RWを全部英語にした感じの授業だったと思いました。

完全英語での授業だったがゆっくり話してくれたため分かりやすかった

週ごとに異なる分野で進められ、それについて様々な方法で学んだ

英語のみで進められ、リーディング、リスニング、ライティング、スピーキング全てをしました。

リスニング、リーディング、ライティング。

月水金と火木で先生が変わりました。

水曜日にライティングのテストがあり、金曜日にそのテストの返却がありました。

先生がホワイトボードを使い、板書しミニゲームなどもしました。

先生の質問に答える

月水金と火木で2人の違う先生が授業を担当。配られた冊子にもとずいて4技能の総合的な授業を行った。先生によって授業のテイストが違う。

15. よいと思った授業内容について教えてください

Writingの練習。週に約1回、テーマに沿って250Wordを30分で書き切るという課題。先生が添削しフィードバックしてくれる。

毎回の授業でスピーキングのチャンスを与えてくれるところ

エッセイを書くにあたってフォーマルな単語の使い方や書き方

積極的に英語を話すことを求められた

スピーキングを多く行ったので英語を話す事への抵抗が減った。ボキャブラリーではスラングなどはもちろん、アカデミックな単語も学べた。

スピーキング。

日本以外の様々な国の人たちと話せて本当に良かった。

ライティングエッセイの書き方を勉強した

解いた問題について議論するディスカッションの時間が多く設けられていた事。

ペアプレゼンテーションが良かった

アカデミックなトピックについてのプレゼンテーションでスライドの作成から発表までの過程でパートナーと英語で打ち合わせするため、英語を多くしゃべるいい機会になった。

日本ではあまり詳しく教えてくれない似た意味の文の使い分けなどを教えてくれる授業。
時間制限を設けたWritingの授業が、とても効果的でした。資料を用いることなく、自分の知識だけで長い文章を書くという経験は日本では少ないので、Writing力が強化されました。また、授業内では日本語を話すことができないため、授業内容でわからないことがあっても、英語で質問しなければなりません。そのため、他国の生徒や先生に英語で質問する機会も増え、臨機応変に英語を考えるSpeakingの力も向上させることができました。
ライティングの時間では、正しい構造で英語の文章の書く方法を細かく学べた。また、日本の学校では学べなかった単語の意味やニュアンスも教えてもらう機会が多くてよかった。
ライティング。書き方を習い、みんなで考えながら模範のエッセイを書き、最後に自分一人で書いた。毎週ミニテストがあり、次の週に返却されたが、その時に上手く書けている人、書けていない人のエッセイをスクリーンに映して良い点・改善点を説明した。
習った文法事項をライティングのテストで実践するところが良かったです。習ったことが無駄にならずとても効率がいいと感じました。
自分の興味のある発明品についてプレゼンテーションを行ったこと
毎回の授業でいろんな国の人とディスカッションできること。
自分の考えとは逆の立場から述べなければいけないディスカッションが面白かったです。
ディスカッション
毎週行われるwritingのテスト
スピーキングの時は他の国々の人と話せる機会なのでとても良いと思いました。
少人数のグループで英語で話し合う
時制
ディスカッション
ディスカッションの時間で異国の人たちと話せたこと。ただ単語や文法を学ぶのではなく、文章を読みながら、文章を書きながら単語や文法を学んでいく授業内容で、私が通っていた高校などにはなかった形で新鮮だった。英語力が向上していることもかなり感じられた。
16. 改善してほしいと思った授業内容について教えてください
特になし
内容全体が入試英語に近く、わざわざオーストラリアで授業を受ける意味をあまり感じなかった。立教の英語自由科目の方がレベル高いと思う。
スラングはなんの役にも立たなかった
特に無し
特になし
日本でもできるような、リーディング・ライティング・リスニングより、スピーキングが良かった。スピーキングは週に2回あるかないくらいだったので、スピーキングを増やして欲しかった。
特になし
リーディングの内容がかなり優しいように思えた。文法の説明も優しいものが多かった。
強いて言えば、少し英文法の学習時間が授業時間に対して多かった。
特にないです。
クラス内の席が固定していて、毎回同じ生徒としかディスカッションができないところが残念でした。毎回メンバーチェンジや席替えをすることで、他の生徒とも話してみたかったです。また、週に一度PCルームでの作業時間がありましたが、それは個人でできるものなので、時間ももったいないなと思いました。
ライティングの時間が割的に多かったからもっとスピーキングやプレゼンなどの割合を増やしてほしい。
なし。

特にないです。
自分が思っていたより会話は少なかった。 また文法の内容も簡単だったこと
問題を解く時間が長かった点。
現地でよく使うフレーズなどを学べると期待していたので、日本で学べる内容だらけだったのが少し残念でした。
特になし
ずっと板書を取るなど座学が多い授業
内容と言うよりは、クラス内に日本人が少し多いと感じた。
リーディングは日本でも行えるなど思ったので、もっとお互いに英語で話す機会があると良かったです。
なし
初歩的な文法を習うこと
もっと強制的なディスカッションタイムがあったほうが日本人は積極的になるかもしれない。
17. North Stradbroke Island Excursionの内容と感想
バスで湖、レストラン、ビーチなどをまわった。バスごと船に乗って移動したのが印象的だった。立教の学生と仲を深めるいいきっかけになった。
立教生同士と仲良くなれた。しかし、時間が短かったためゆっくり楽しめず、少し中途半端な感じだった。
自由時間がなかった
とても楽しめたが、虫除けと日焼け止めは必須
景色がとても綺麗で、とくに海がとても青く素敵だった。コアラやカンガルー等の動物も見ることができた。ガイドの方も親切だった。クラスが異なる立教生とも関わる機会があった。
立教生全員で行動する機会は、ここでもなかったので、あって良かったと思う。
大自然の中で散歩をするのはとても楽しかった
自分では気軽に行けないような場所だったのでとても良かった。
オーストラリアの大自然を存分に感じられるので行けてよかった。 ただ、天候に恵まれないとあまり楽しめないと思う。
景色がきれいだった。もう少し自由時間が欲しかった。
大学に集合し、バスとフェリーで移動しました。全ての場所にバスで行くことができるのはとても快適でした。数カ所のポイントを巡り、昼食は景色の良いところでフィッシュアンドチップスを食べました。とても天気が良く、フェリーで風に吹かれながらの移動や、絶景をバックに写真を撮ることができたのが印象的でした。足だけ海に入ることもでき、野生のコアラを見ることもできました。注意点としては、蚊が大量発生しているところを通るため、虫除けが必要なことと、日差しが強く、足場が悪いところをトレッキングするので、歩きやすい靴と日焼け止め、サングラスなどが必要だと思います。
日本では絶対に見る事ができないような迫力のある広大な海を崖から見下ろせてとても感動した。ほんとに天気も良くて綺麗な海を見ながらフィッシュアンドチップスを食べられたし、プログラムに参加した他の立教生とも仲良くなりたいいい機会だった。とにかく非現実的な場所に行けて気分転換にもなったし、とても楽しめた。
立教生専用のバスで島を観光した。バスごとフェリーで移動し、湖や海岸をバスで巡り、メインビーチの周辺で島の周りを歩いた。バスの運転手の方が案内して下さいました。
一日一緒にいることで普段から一緒にいる子だけでなく、会話したことのない立教生とも仲良くなれて、とても楽しかった。現地に行ってから一番晴れていた日で、非常に暑かった。
島のビーチをひたすら歩き、イルカやコアラを生で見ました。すごい自然を感じました。
さまざまな場所を訪れたがそれぞれの場所での滞在時間が短くその場所で遊ぶ余裕がなかった。

バスで有名なところをまわる。眺めの良いお店でフィッシュアンドチップスを食べ、海が見える高台のところに行き、そのあとコアラがたくさん見えるところに行って、最後には実際に海に入れるところを訪れた。天候にも恵まれて、きれいな海を見ることができたと、野生のコアラを見ることができてうれしかった。また、立教生とも仲良くなることができたのでとても楽しかった。

島の中はバスで移動し、途中海沿いを歩いたり少し海に触れたりしました。野生動物もたくさん見られました。

ガイドさんが島を案内してくださり、普段関わる機会の少ない立教生と話すことができてとても楽しかった。綺麗な島だった

1日中充実していて楽しかったし、お昼ご飯が美味しかった

とても自然が豊かで、ガイドさんが行く場所を先導してくれていたの、様々なところに行くことができた。私たちは幸運にも野生のコアラに会うこともできました。

バスで島内を回りました。

途中バスを降りて歩きましたが、とても暑かったです。

海がとても綺麗で良かったです。

個人では絶対に行くことができない島だと思うので、楽しめた。

暑く、かなりの距離を歩いたが、

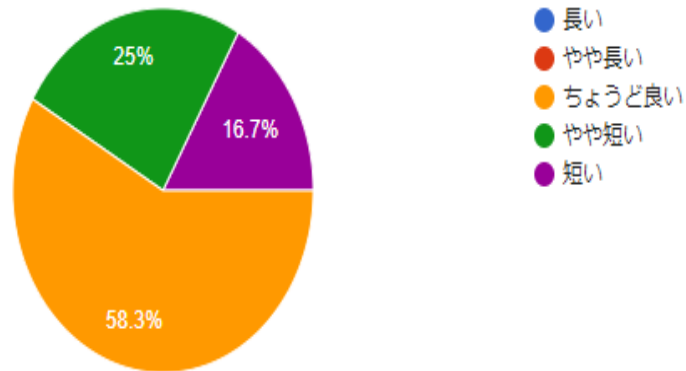
バスでの時間も多かったので助かりました。

自分では行けないようなところにガイドが連れて行ってとても充実していた

バスで島を巡る形。楽しかった。生徒以外にはバスの運転手しかいないので、日本人のツアーガイドがいたらもう少しツアーにまとまりが出たかもしれない。

18. 研修期間（4週間）についての感想

24 件の回答



19. 滞在した家族の名前(姓)を教えてください	20. ホストファミリーの家族構成	21. 現地でのホストファミリーとの連絡手段	22. ホストファミリー宅での時間の過ごし方	23. 滞在した部屋について
Jones	母、父、娘、ルームメイトが二人	Messenger	平日→夕食後風呂に入り、部屋で過ごす 休日→ホストファミリーと出かけるか、友達と出かける	ダブルベットが入り、スーツケースが広げられるくらいの大きさ。机、イス、棚が置いてあった。
Tong	両親と息子、エクアドルからの留学生一人	WeChat	基本自分部屋で過ごしていた、ご飯を食べる時も別室に案内されたため交流はあまり多くはなかった。	広さ8畳前後、家具はベッド、勉強机とクローゼットのみ。
Shams	ホストマザー、ファザーとその子供3人と他の留学生3人	LINE	平日は家でYouTube鑑賞、週末はシティに友達と観光	扇風機、広さはちょうど良い
Minda	シングルマザー 息子 嫁 子供	Facebookの messenger	平日は、夜に車で出掛けたりすることはあった。 休日は、友人と遊んでいたため特にファミリーとは過ごしていない。	全体的に汚く、虫が非常に多かった
Holdsworth	ホストファザー、ホストマザー、ホストシスター(中学生)、留学生(中国人の高校生)	Instagramのダイレクトメッセージ	平日は夕食後映画をみたり話したりした。週末は自分に予定が無い日はサウスバンクやゴールドコーストなど、様々な場所に連れて行ってくれた。	八畳くらいの広さで、ベッドやワードローブがあった。専用のシャワールーム、洗面台、トイレがついていた。
Chen	本人のみ	ショートメール・電話	リビングを使わない家庭だったので、ご飯が終われば、部屋にいた。 週末は必ず外出し、帰ってきたら部屋にいた。	ベッド・クローゼット・机・扇風機
Anne Elcok	息子 韓国人 イスラエル人 ブラジル人	メッセージ	一緒にご飯を食べて、その後は部屋で個人行動	普通の1人部屋
Perera	ホストマザーのみ	What's app	TVをみて海外の英語に触れていた	ちょうど良い広さだった。(ベッド、机、椅子、クローゼット)
Brown	ホストファザー、マザー、韓国人留学生(自分と入れ替わりで母国へ帰った)	Gmail	平日:学校から帰宅した後は夕食までの間宿題をしたりスーパーに買い物に行ったりした。または学校で授業を受けるのは半日だけとはいえ環境の変化でかなり疲れるので昼寝をしていた。夕食をホストファミリーと取った後はシャワーを浴びて就寝というような流れ。 休日:毎週土日は立教生の友達と観光しに行っていた。自分の場合ホストファミリーの夕食の時間が早めだったのでたいてい外で食べて帰っていた。	クローゼットや棚などの収納やデスクがあり、天井にはファンがついていたのでとても快適だった。
Mallikarachchi	マザーのみ。仕事をしていたので朝起きるともう出かけてしまっていることが多かった。休日も朝はジムにいらしていないことが多かった。夜は一緒にテレビを見たり、話してくれたり、いつも優しい人だった。	メッセージ	夜はマザーと喋った後にそれぞれ部屋にいき、宿題や携帯を見たりしていた。週末も同じような感じ。昼間は基本友達と出かけていた。	ベッドのほかにクローゼットや棚、机のついた広い部屋だった。

Mattner	ホストファザーとホストマザーの2人	messenger	平日は、授業が午前で終わり、作ってもらった昼食を食べ、その後の過ごし方は日によって違いました。(ショッピング、人エビーチ、図書館で課題をやる、など)帰宅後は、毎日必ず18時に夕飯を食べました。20時までにシャワーを浴びなくてはいけないので、夕飯後はそのまま、シャワーを浴びていました。19時以降は自由に過ごしていました。平均の就寝時間は23時頃でした。 休日は、毎回どこかに出かけていたので、ホストファミリーとは過ごしていませんでした。夕飯の18時までに帰宅することもあれば、外食をしてから帰宅することもありました。門限が21時だったので、それを厳守して帰宅していました。	自分用の部屋、シャワー、トイレ、簡易的なキッチン、リビングが用意されていました。それらが全て一階にあるため、夕食を食べる時だけ二階が上がっていました。部屋には机、ベッド、クローゼット、チェストがありました。ハンガーや洗濯物干しも常備されていました。ドライヤーやスリッパなどはありませんでした。簡易キッチンには、冷蔵庫、電子レンジ、電子ケトルもあり、便利でした。
マンスフィールド	母、父、兄、妹	LINE、インスタグラム、スナップチャット	ホストシスターと映画鑑賞・テレビゲーム、自分の部屋でNetflix・宿題する	一人で生活するにはちょうどいい広さで、タンスも十分に使いやすかった。だけど、少し暑かった。
Brumly	ホストマザー、ホストマザーの友人。ホストファザーと子ども5人はそれぞれの家に住んでいて、週末ホストファザーが家に来る。	SMS、時々電話	平日:食事の前後や食事中にホストファミリーと会話をした。夜は自分の部屋で宿題をしたり、友達とラインをしていた。 休日:一日中家にいることはなかった。課題をしたり、テレビを見たり、時々ホストファミリーが近くのお店に連れて行ってくれた。	ベッド一台と机、クローゼット。大きさは学生寮の一部屋くらい。タンスがなかったため、毎度スーツケースを開く必要があった。ほとんど使わなかったが、自分の部屋の鍵を渡せていた。
Lilia	ホストマザーが1人	メッセージ	ご飯の時はたくさん話していましたが、平日も休日も宿題などがあったので部屋にいることが多かったです。あとは友達と外に出かけていたりしました。	四畳くらいです。ベットと机と扇風機とクローゼットだけ置いてありました。
Hays	マザー、ファザー、息子、娘、犬、ファザーの兄弟、娘の彼氏(時々)	メール	平日 夕飯はできるだけ一緒に食べるようにし食後もリビングでテレビを一緒に見た 休日 基本は友達と遊びに行っていて家にいなかったが、遊びに連れて行ってくれた。	ベット、机、ファン、広さは7畳くらい
Mccartney	ホストマザー一人、同じ授業に参加しているコロンビア人の留学生	Facebookのメッセージ	平日も休日も6時半くらいに夕食でそのあと少しホストマザーとテレビを見て、自分の部屋に戻って宿題をこなしたり、YouTubeを見た。	広さは10畳くらいあってとても広かった。椅子、机、クローゼットがあった。
ラムさん	ホストマザー、息子1人、娘1人 留学生→韓国人、中国人、アフリカ人	Gメール	平日・週末 共にテレビで字幕つきニュースやNetflixを見ていました。	1人で滞在するのに調度良い広さとシンプルな家具つきで快適でした。
Angeles	ホストマザー、ホストシスター、シェリー(フィリピン人)	メール	一緒にご飯を食べる、部屋で休む、映画を観る、キリスト教の勉強	大体4.5畳 机、ベッド、クローゼットのみ
Windle	ファザー、マザー	メール	平日、休日ともに、一緒にテレビを見たり談笑する	6畳ほどの部屋に机、テレビ、ベッド、タンス、棚など

Lim	夫婦のみ	What's up? という海外版LINEのようなアプリ	平日は夜ご飯までには帰宅し夜ご飯をホストと話しながら食べ、食べ終わると宿題をし、寝るまでホストの人とその日あった出来事を話していました。週末は昼間は外出し、平日同様夜ご飯は出来るだけホストと食べました。夜ご飯までに帰宅できない時は連絡して外食したりご飯を置いておいてもらったりしました。あんまり時間が遅くならないように帰宅していました。	六畳くらいの広さで、家具はベッドと勉強用の机とクローゼットがあった。
Kawanishi	ご夫婦(日本人女性とオーストラリア人男性)	Gmailで連絡を取りました。	平日は夕飯を一緒に食べたり、お話をしたりしました。週末は友達と出かけることが多かったです。	ベット、ダンス、勉強机、クローゼット、扇風機
Bush	ホストファザー、ホストマザー、同じ年のホストシスター、もう1人のベトナム人の留学生	メール	平日 学校が12:45に終わり、そのまま帰ることもあればショッピングセンターに行くこともありました。家では、お菓子作りをしたり映画を見たりしました。週末 日曜日はホストファミリーとマーケットに行ったりセカンドショップに同行させてもらいました。	1人部屋にはちょうどいい部屋の大きさで不満はありませんでした。家具も、机ベッド鏡が置いてありました。
Sawyer	ホストマザー、ベトナム人留学生	LINE	テレビを見る、自分の部屋で過ごす	6畳くらいでベッドと机、クローゼットがあった
Kingdon	母、父、長男、長女、次男	Instagram	基本自分の部屋で宿題、自習をして、夕食は全員で集まって食べた。長男が私と同年だったので、よく外に連れ出してくれた。平日も週末も特に変わりはなかった。	日本で言う、豪邸。とてもリラックスできた。

24. ホームステイ中に起きた問題や困ったこと、その解決方法

特になし

なし

なし

なし

携帯を大学に置き忘れたが、学生部に届けられていたのでよかった。

帰国1週間前に携帯を水に落として故障したが、帰国までパソコンで連絡や目覚ましを使えた。友達とアップルストアに行ったら新しい物を買うか日本で取り換えるかしかないとされたので、帰国してから、ちょうど買い替え時期だったので新しい物に買い替えた。

コロナの感染者のように扱われた。

学校では、他の国の人たちと話すな、先生の話だけ聞きなさい、マスクをして登校しなさい、と言われた。私のクラスはほとんどが外国人だったが、言えなかった。また、私が理解できていないと思っているのか、小言をよく言われた。日が経つごとに、彼女も気にしなくなっていき、私も受け流すことに慣れたので、過ごしやすくなった。初めての経験に加え、私には適応力がなかったため、夜中は毎日2・3回起きてしまっていた。

睡眠も含めて、週末に外泊する事が体も心も回復できました。

なし

ホストマザーが夜に帰ってこなかったことがあった。自分でご飯を用意して過ごした。

なし

小さな虫がよくいる。エアコンが無いので、扇風機だけでは暑いときがあった。

虫(蚊、ハエ、ゴキブリ)の発生に悩まされました。家には、網戸がなく窓が開いていたため、夕食時は常にハエが飛んでいました。就寝時は蚊がいて眠れないことがありました。対策としては、現地の虫除けを購入して予防しました。また、部屋に冷房がなかったため、個人で扇風機を購入しました。

通学時は、最寄りの一番早いバスが授業開始時刻に間に合わないという問題が発生しました。大学のカウンセラーの方に相談をしたら、車で送るようにと頼んでみなさいと言われました。失礼なことではないかと心配でしたが、勇気を振り絞って頼み、毎日送ってもらうことができました。

夕飯の時間と門限に厳しかったのも少し不便でした。

また、私のホストファミリーはどこかへどこかに連れて行ってくれる方ではなかったので、少し寂しいと感じることがありました。

たまにホストファミリーが自分のランチを作り忘れた。その時は学校の売店で買ったりして、帰宅してからその旨をホストファミリーに伝えた。

犬や猫といったペットが苦手なのだが、犬が四匹、猫が一匹放し飼いになっていたこと。好きではないということはホストファミリーに伝えたが、彼らは攻撃しないとわれ続けた。最初は恐怖であったが、毎日一緒にいることで慣れてきた。

私がこのプログラムに参加した時期が夏だったのでとにかく部屋が暑かったです。エアコンがなくて軽く熱中症になりました。とにかく暑かったです。

シャワーを6分しか浴びれなかったこと

途中で止められたことがあった

なし。

お腹を壊しましたが消化の良いものをマザーが出してくださって自然治癒できました。

キリスト教徒で週に3.4回程チャペルに行くため最初は困惑したが、勉強だと思って割り切ること、行きたくない時は休みたい、用事があるなどの理由で断ることもできることを学んだ。

手や足に湿疹が出来てかゆくなったので市内の病院へ行った

なし

なし

なし

なし

なし

25. ホームステイで印象に残ったこと、感想、来年度参加者へのホームステイに関するアドバイスなど

ホストファミリーとショッピングセンターに行ったことが印象に残った。朝食は基本的に自分で用意する。使った皿は自分で片付ける。水に関してはあまり細かく言われなかったが、15分にとどまるよう意識した。

感謝の気持ちを忘れないことが大事、常にThank youを言いましょう。

家の中にも虫が多いので虫除けと虫刺されの薬の持参は必須

虫が非常に多い

自分の家のホストファミリーはとても親切にしてくれたが、このような家族が全てでは無いと思った。宗教的なことはもちろん、普段の生活で嫌なことがあればはっきり断ることが大切だと思う。オーストラリアの人はとても親切なので道に迷った時などは声をかけると助けてくれた。移動の際はGOカードが便利だった。

ホームステイは本当に辛いので、自分のストレスを溜めない方法を見つけるのが大切です。

家の料理を褒めるととても良い

週末に観光地に連れて行ってってくれる家族とそうでない家族とがはっきりと分かれるのでそのあたりは頭に入れておいたほうが良いと思う。

ホームステイは自分次第で英語をしゃべる本当にいい機会になると思うので少し勇気を出してホストファミリーとどンドンしゃべることをお勧めします。

ごはんは不味いものはそんなにないが、慣れるのに時間がかかるかもしれない。日本食が食べたくないので、インスタントの味噌汁や何か日本食を持っていくことをお勧めする。

派遣される家によって大きな差があるなと思いました。事前にホストファミリーに関する希望のアンケートがあるので、それを細かく答えることをお勧めします。私のホストファミリーは2人でしたが、週末には孫が遊びに来ていました。私は子供が好きなので、その子と遊んでいる時間がとても幸せでした。

各家庭で、大学までの距離や、都市へ行く際の乗り換えの便利具合が変わってくるので、立教大学とホームステイ先との事前の連携がとても重要であると思います。

ホストファミリー含め現地で会う人みんなとにかく優しく、晴れた日はとても気持ちよく過ごせました。学校終わっても周辺に大型ショッピングセンターもあれば、バスで移動すれば人エビーチも街にも行けるので、毎日飽きる事なく過ごせました。ただ、ホストファミリーによりませんが、私の場合どこかにつれて行ってってくれる事がなかったので、全て自分でバスや電車を利用して特に休日は出かけました。

食事が非常に美味しく、冷蔵庫に入っているものや、棚に入っているものは自由に食べてよいといわれ、食で困ることはなかった。様々なことを自由にさせてもらい、非常に満足している。夜が遅くなったときは近くの駅に迎えに来てくれることもあり、その点も感謝している。

ホストマザーがクリスチャンだったので一緒に教会に行きました。なかなかできない経験だったので宗教に興味を持ち、面白かったです。

誕生日が娘の彼氏と一緒にだったため盛大に祝ってくれたこと、ステーキを食べに行き誕生日プレゼントをもらったこと

ホームステイはもっとホストマザーとかとお話できると思っていたが、ホストマザーも自分のやりたいことをやっていて、そんなに留学生にかまってくれる感じではなかった。さらに、私はあまり英語を喋れなくて、もう一人同じ家にホームステイしていたコロンビア人の人のほうは英語を聞き取れ、話せたのでホストマザーは彼女のほうにはたくさん話しかけていた。悲しかったのでもっと話せるようになりたいと思った。

こちらから積極的にいかないとあまり話す機会がなかったのでなるべく自分から話しかけるようにした方が良いです。

また、土日は友達と外出たくさんしなと言われました。おすすめの観光地など聞くと良いと思います。

カルチャーショックがあり、困惑したが、とても親切なホストファミリーだったため楽しく過ごすことができた。宗教に関してホストファミリーと異なることがあった場合、自分の宗教や無宗教であることを予め言う必要があるなと思いました。

分からないことや気になることは遠慮せずに聞くこと、学校が始まる前の初めの3日ほどはとても不安だが、すぐ慣れるので気にしないこと

お皿洗いなどお手伝いをするのはホストの方と仲良くなる上でとても大切だと思います。積極的にホストの方とコミュニケーションをとることで仲良くなるので、受け身にならず自分から話しかけるべきだと思います。

ホストファミリーの方と仲良くなることができ、嬉しかったです。

オーストラリア人の時間の使い方が有意義で、日本ではせかせかせしているが心に余裕が持てた。

オーストラリアは素敵な場所で、気温も暑すぎず寒すぎずなのでお勧めしたいです。

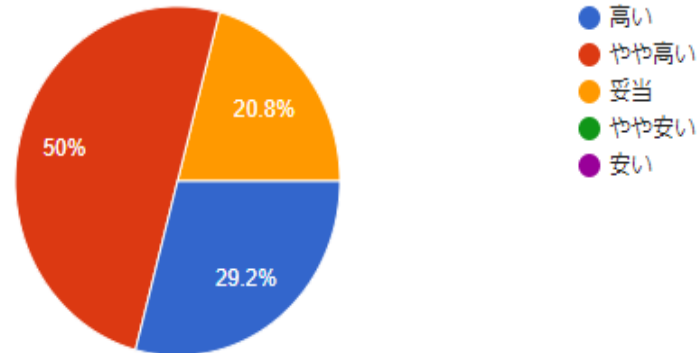
ホームステイ先によって様々なので、あまり期待せず割り切ることが大事だと思う。

無理して常にリビングにいたりする必要はないと思う。ただ、ずっと引きこもっていると心配されるので、最低限のコミュニケーションをとるといいと思う。それに慣れてくると、自然にいろんなコミュニケーションが取れるようになってくる。

26. グリフィス大学への通学手段、時間、費用 (AUD)	27. 通学方法はどのように確認しましたか？
バスと徒歩で20分、往復6.5AUD	ホストファミリーが大学までの行き方を教えてくれた。
バスで10分、片道3AUD	ホストファミリーが教えてくれた
バスと徒歩で30分	トランスリンクで調べた
バスと徒歩で約30分	Google mapで調べた
バスと徒歩で40分、往復7AUD	ホストファミリーに尋ねた後、細かくトランスリンクやグーグルマップで調べた。
バスと徒歩で45分	初日にバス停まで来てもらい、その後はGoogleマップで調べた。オーストラリアのバス路線案内アプリをダウンロードさせられるが、結局、Google マップが1番使いやすかった。
バスと徒歩で30分	ホストファミリーと一度一緒にいった
大学のシャトルバスと徒歩で30分	初日にホストマザーに尋ねた
バスと徒歩で10分ちょっと	ホストファミリーが教えてくれた
バスで二駅で徒歩も合わせて20分くらい。片道3ドルちょい。	最初はホストマザーに教えてもらい、次からはトランスリンクというアプリで調べていた。
登校時は車で送ってもらっていました。帰宅する時は、バスと徒歩で20分、片道3.37AUD	ホストファミリーが教えてくださいました。分からない時は、グーグルマップで調べました。
バスと徒歩で1時間、往復8AUDほど	現地到着後ホストマザーが教えてくれた
徒歩とバスで20分程度、往復およそ8AUD	現地到着後ホストファミリーが説明してくれた
バスと徒歩で30分くらい。往復6AUD。でも、ゴーカードというカードを8回使うとその後が半額になるのでそれは助かりました。	ホストマザーが教えてくれました。
バスと徒歩で30分 往復約8AUD	現地到着後ホストファミリーと一緒に学校まで行って確認したあと現地のアプリ
徒歩とキャンパス間で走っている無料シャトルバスで30分	ホストマザーと同じホームステイ先の留学生在が教えてくれた。
徒歩とバスで50分、往復で10AUD	ホストファミリーが教えてくださいました
バスと徒歩で1時間、往復約5.2AUD	グーグルマップで調べた
バスと徒歩で40分、往復8.3AUDほど	現地到着後ホストファミリーに聞き、学校初日に一緒に行って教えてもらった
バスと徒歩で1時間、往復8AUD	到着後ホストファミリーから教えてもらい、時間などはグーグルマップで調べた。
バスと徒歩で約1時間、往復8AUD	ホストファミリーに尋ねた
バスで20分、往復6AUD	Google マップ、ホストファミリーに教えてもらった、Translinkというアプリ
バスで約1時間、往復7AUD	ホストマザーに尋ね、分からないときはグーグルマップで調べた
バス停への送迎と、バス。合わせて、10分程。往復4~6AUDだったと思う。	ホストファミリーがすべて教えてくれた。

28. 研修全体の費用について

24 件の回答



29. 研修中の食費に大体いくら (AUD)使いましたか？

3
800
1000
300
200
600
100
300
400
350
700
70
300
300AUD
あまり覚えてないが多分 400AUDくらい
150

250
100
270
60000
110
200
200~300
600~800AUD
30. 朝食・昼食・夕食について、それぞれどのような場所で何を食べましたか？
朝→ホストファミリー宅でシリアル 昼→大学でお弁当 夜→ホストファミリー宅でホストマザーの作った料理。たまに外食
朝食は家でホストファミリーが作ってくれたパンや卵など、昼食は弁当もしくは外食、夕食は家もしくは外食
朝食はなし、昼食は弁当か大学のカフェかショッピングセンターのフードコート、夕食は家
昼食はショッピングセンターのフードコート 他は家で肉が多かった
朝食、夕食は家で、昼食は作ってもらった弁当を学校で食べた。その他カフェに行った際や休日出かけた際は外食した。
朝は、シリアルだった。私は朝は元々食べないタイプだったが、食べないと『栄養が足りない人はコロナにかかる』と言われたので、食べてる程で、食器をシンクに毎日入れていた。ホストファミリーは朝起きなかった。 昼は家にあるパンとソーセージを持っていったが、あまり好きじゃなかったので、マクドナルドなどによく行った。 夜は、ベランダでホストファミリーが作った、カレー、パスタや冷凍のピザポテトチキンナゲットだった。
朝と夜は家、昼は学校
朝→家(シリアル、バナナ、パン) 昼→学校(サンドイッチ) 夜→家、シティのレストラン
朝食：たいていホームステイ先でシリアル 昼食：ホストファミリーが作ってくれたランチボックス（サンドイッチ、フルーツ、ヨーグルト、スナックなど） 夕食：ホームステイ先でパスタや肉料理などのワンプレートの食事
外で食べる時はショッピングモールやレストラン。
朝食は食べなかった、昼食は学校か外食、夕食は家か外食
朝食：ホームステイ先でパン 昼食：学校でホストファミリーが作って下さったお弁当。たいてい前日の夕食 夕飯：ホームステイ先でホストファミリーが作ってくれたもの。お肉、麺、ポテトが中心で、ほとんど毎日違うものが出た。
朝食は、ホームステイ先でシリアルを自分で食べていました。 昼食は、作ってもらったサンドイッチとフルーツを食べていました。 夕食は、ホームステイ先で野菜中心の食事でした。主食は基本的にありませんでした。
朝、夜はホームステイ先で食べて、昼は学校で友達と食べた。昼や夜もたまに友達とショッピングモールだったり街まで出てレストランで食べていたりした。

<p>朝早かったため途中から朝食は食べていなかった 昼はホストファミリーが作ってくれた弁当でサンドウィッチが多かった、あとはシティでいろんな国の料理を食べた 夜は友達と外食することよりは家で食べるが多かった。</p>
<p>朝食は家で食パンとシリアルとゆで卵とヨーグルト。 昼食は学校の食堂でホストマザー手作りのサンドイッチとリンゴや桃など果物丸々一個。 夕食は家でサラダとお肉やミートソースパスタ、チキンスープや英国式カレーなど。</p>
<p>朝食・夕食はホームステイ先、昼食は学校でホストマザーのご飯を食べました。マザーがシンガポール出身だったのでご飯の内容はアジアっぽいものから洋食まで色々なものを出してくださりました。</p>
<p>朝食 家で食パンやシリアル 昼食 学校でお弁当 夕食 家でホストマザーが作ってくれた料理 外食 (BBQやハンバーガーなど)</p>
<p>朝食は家でシリアルやフルーツ、昼食は作ってもらったサンドイッチを学校で、夕食はワンプレートのものを家で食べるか外食するか</p>
<p>朝食はホームステイ先、昼食は大学内の食堂か、ブリスベン市街地、夕食はホームステイ先かブリスベン市街地</p>
<p>朝食は家で。昼食はホストファミリーの方に作ってもらったサンドイッチなどを学校で。夕食は友達とレストランで食べたり、家で食べたりしました。</p>
<p>朝食 家 昼食 大学 夕食 家</p>
<p>朝 家でパンとフルーツ 昼 学校でサンドウィッチ 夜 家か自分で友達と外食</p>
<p>朝→家、パン 昼→お弁当、サンドイッチ 外食、色々 夕→家、色々 外食、色々</p>

31. 航空券、プログラム費用、保険、食費以外に、現金・クレジットカードでそれぞれ大体いくら(AUD)使いましたか？	32. 上記は何の費用でしたか？具体的に書いてください。
15	お土産代、買い食い、シドニー旅行、交通費
1500	服、お土産、カジノ
1000	お土産代、バス代、嗜好品代、食費
500	交通費
400	衣類、お土産代
400	外泊のホテル、服、
900	お土産代 バス代 洋服代
600	お土産代、洋服代
900	外食代（軽食、飲み物代含む）、お土産代、交通費、観光費
750	お土産、服、くつ、アクティビティなど
500	お土産代、自分の買い物、ホームステイで必要な日用品
45	交通費、お土産代
2500	お土産代、国内旅行費、交通費、食費、買い物代
400	自分で動物園に行ったり、あとは交通費がかなりかかったのとお土産や服。
500	お土産代、洋服代、交通費、娯楽費
600	お土産代、遊園地や動物園などの参加費
200	おみやげ代
800	お土産代、食費、衣服代、コスメ代
930	交通費、お土産代、外食費、買い物
50000	お土産代
600	交通費、観光、お土産代など
900	お土産代、食費
500	お土産代、交通費
2700	お土産、服、外食

33. 日本から持参した電化製品を教えてください	34. 持参すればよかったと思ったもの (電化製品、その他のもの)	35. 持参したが不要だと思ったもの (電化製品、その他のもの)
スマートフォン、ノートパソコン、ドライヤー、変圧器、ヘアアイロン、変換プラグ、	なし	なし
スマートフォン、ノートパソコン、変換アダプター、電動歯ブラシ、シェーバー	ドライヤー、シャンプー、ボディークリーム	ノートパソコン
スマートフォン、パソコン、充電器、髭剃り、ドライヤー、変圧器、ポケットwifi	ドライヤー	なし
スマートフォン、ドライヤー、変換アダプター	なし	なし
スマートフォン、ラップトップ、ドライヤー、ヘアアイロン、変換アダプター	なし	なし
iPhone、iPad、変圧器、充電器、電子辞書	なし	レンタルWi-Fi
携帯、パソコン、変換アダプター、変圧器	ドライヤー、爪切り	なし
携帯電話、スマートフォン、ノート型パソコン、ドライヤー、変換アダプター	なし	なし
携帯電話、スマートフォン、ノート型パソコン、ドライヤー、変換アダプター	なし	なし
スマホ、パソコン、ドライヤー、ヘアアイロン、変換アダプター、モバイルバッテリー	なし	なし
スマートフォン、ノート型パソコン、ドライヤー、変換アダプター	シャンプー、リンス、ボディークリーム、傘	ドライヤー、必要以上のパーカーなどのアウター、
スマートフォン、ドライヤー、変換アダプター	なし	なし
スマートフォン、パソコン、ヘアカーラー、変換プラグ、充電器、USB	電子辞書	なし
スマートフォン、パソコン、変圧器、延長コード、ドライヤー、コテ	なし	パソコン
iPhone、パソコン、変換アダプター、変圧器、ドライヤー、	ボディークリームやシャンプー	一眼レフカメラ
スマートフォン、ノートパソコン、ドライヤー、変換アダプター	水筒	なし
スマートフォン、変換アダプター(2つ)	なし	日本食(日本のお菓子を少し持って行きましたが現地で手に入るのでも必要でした)
iPhone、変換アダプター、ノートパソコン	なし	ノートパソコン
スマートフォン、変換アダプター、ヘアアイロン	薄めの上着	洗濯用洗剤
スマートフォン、ノート型パソコン、ドライヤー、変圧器	多くの洋服	なし
スマートフォン、ドライヤー、変換アダプター、ノート型パソコン	なし	ノート型パソコン
スマートフォン コテ ドライヤー パソコン 変圧器 変換アダプター	なし	ドライヤーは使えなかった
変換アダプター、電子辞書、ヘアアイロン	なし	なし

スマホ、PC、変換プラグ、携帯用充電器	なし	ドライヤー。普通の変換プラグではW数？ の違いでドライヤーが使えなかった。
---------------------	----	--

36. レンタルWi-Fiを使用した感想	37. 日本の家族、友人との連絡手段
電波が悪くなることがほとんどなかったのがよかった。	LINE、Instagram
毎日使えるデータ量が少ない上通信が安定しないため、現地でSIMカードを作った方が安くて快適にネットを使える	LINE、Instagram
良い	SNS
容量が少し少ないと感じた	line
便利だったが少し大きかった	LINE、インスタグラム
いらぬ。ギガが少ないのに、高い。 結局ホストファミリーと電話をするために、SIMを買うことになる。SIMは10ギガで15ドル。レンタルWi-Fiのようにいちいち起動する必要もないし、電話もできるし、重いものを持ち歩く必要がない。ほとんど使いきれなかった。お金の無駄だった。	LINE
使いやすい、充電の消費激しい	Line
大学にもwifiがあったので、1日の最大容量まで使う日はほぼなかったの少しもつたいないように思った。	LINE
日本で使っているように使う場合レンタルWi-Fiのほかにホームステイ先や大学のWi-Fi、フリーWi-Fiを併用しないと容量が足りないと感じるかもしれません。	LINE
荷物になるが、Wi-Fiが無い場所では必要だった。	LINE,インスタ
便利だったけど大きくて持ち運ぶのが面倒だった。	LINE
使いやすく、容量十分もあったが、機器自体が大きすぎた	ライン、インスタグラム
1日の使用可能量が少なく、必要な時以外は接続していませんでした。使用量を考慮するため、基本的には大学と街のWi-Fiを使用していました。グーグルマップなどを利用すると、すぐに通信制限になってしまうため、レンタルWi-Fiは少し不便でした。	LINE
かなり良かったと思う。	LINE
途中で壊れてしまったが、連絡したら翌々日くらいに代替機が、届いたのでよかった。 ただ、1日600MBしか使えないのは少ないと思った。SIMカードを使ったほうが値段も安く済んでいい気がした。	LINE、Instagram
電波がつながりにくいことが多々あった。充電するのに四時間くらいかかるので充電するのを忘れないようにする必要がある。	LINE
たまに電波が悪くて使えないこともありましたが、ほとんど不自由なく使えてありがたかったです。	LINE
いつでもWi-Fiを使ってとても便利だったがSIMカードも便利そうだった	LINE、Instagram
あれだけでは容量が足りなかった、大きくて重かった	LINE
使いやすいですが、1日に決められているギガ数を超えないように注意していました。	LINE
使いやすかったです。	LINE
満足でした	LINE
自分でSIMを買った方が安いので、レンタルWi-Fiは必要ないと思った	LINE
1日あたりに使える量は少ない。せめて1日あたり1GB欲しかった。	LINE

38. 自由時間（放課後、週末など）について

観光、ショッピング、旅行、ビーチ

大学のアクティビティ、クライミングジム、カジノ

友達とシティやショッピングセンターに出かける

シティに行って遊んだが、1日で見るとは回れる

放課後はカフェを巡って様々な地域を見て周ったので南米や韓国、中国の方が多く住む地区などの文化を見られた。ショッピングセンターやシティ、ゴールドコーストなどは出かけることもあった。

図書館で課題のプリントアウト、プリントシステムを使うのには登録が必要。

city行ってショッピング

友達と観光に行ったり、親戚の家に行った。

平日はスーパーに買い物に行ったり、宿題をしたりして過ごしていた。たまに大学のバスケットボールコートでバスケをしたこともあったが屋外のスポーツ施設が充実していた。

大学内、ショッピングモール、ビーチ、カフェ、シティ

学校近くのショッピングセンターや人工ビーチに放課後は通い、週末は電車を利用してゴールドコーストに行ったり少し遠出した。

市内観光やショッピング、人工ビーチで過ごした。週末は日帰りでゴールドコーストや一泊で二日でシドニーへ旅行した。一度学校の図書館で課題をしたが、パソコンの数は多く、使いやすかった。

(放課後)

- ・近くのショッピングセンターでお買い物
- ・ブリスベン観光
- ・人工ビーチ
- ・大学のフリースペースで課題をやる
- ・ホストファミリーの孫と遊ぶ

(週末)

- ・アウトレット
- ・シドニー旅行
- ・ゴールドコースト
- ・イートマーケット
- ・ゴールドコースト

自由時間は家で本を読んでいたたり、友達とご飯食べに行ったり、街で遊んでいたたりした。

放課後は友達とシティに遊びに行っていた。シティでは買い物をしたり、カジノに行ったり、観光したり、ご飯を食べていた。

週末も友達とシティに遊びに行っていた。またホストファミリーに、ゴールドコーストに連れて行ってもらった。

大学のジムは1回13AUDで1ヶ月70AUDと高かったため利用しなかった。

放課後は近くのショッピングセンターでコーヒー巡り、週末はシティやゴールドコーストなど少し遠いところまで観光しに行った。

放課後は通学途中に乗り換えで利用する大きなショッピングセンターに寄ることがほとんどでした。たまにブリスベンシティにも行きました。

慣れてきてからの週末はゴールドコーストなどにも行きました。

友人とカフェやショッピングに行った

市内やショッピングモールにショッピングに行ったりや観光地に遊びに行く

ブリスベン市街地によく行きました。お土産を買ったり、食事をしたりしました。毎週水曜日の放課後には、大学のサッカーグラウンドで留学生と在校生の人たちと一緒にサッカーをしていました。天然芝なのでとても良かったです。

友達と出かけました。

家に帰るか、ショッピングセンターか、ブリスベンシティ

友達とブリスベンによく出かけていた

大学の図書館で課題などをした。遊びに行くときは基本的にブリスベン市内の方が、大学の近くのショッピングモール。

39. 危機管理（研修中、危険な目に遭ったこと、避けたほうがよいと思った地域や時間帯など）

私の友達がゴールドコーストで襲われそうになった。時間は昼。また、19時頃暗い道を一人で歩いていたら喝あげされそうになった。

鳥の繁殖時期であるため、巣の近くを通ると防衛本能で襲ってくるので、避けて他の道を選びましょう。

クレジットカードでの支払いの際、見えるところで支払うのがいい。カードを預けて支払うと多額な費用を請求される可能性がある

物乞いが多い

夜のフォーティチュードバレーは薬物が横行することもあるので行く際は注意した方がよいと聞いた。

夜のゴールドコーストは結構治安が悪かった。

夜のブリスベンのシティも地面に寝てる人が多かった。

なし

夜道は街灯がないところも多くあるので、早めに帰路につくようにした。友人によると、ホストファミリーの親戚が尋ねてきたときは気を緩めないほうがよさそうだった。

原則22時以降は外を出歩かないほうがよいと思います。

ない

危険な目に遭ったりしたことは一度もなかったが、家の最寄りのバス停から家までは街灯がほとんどなく人もほぼいないような道だったので夜遅くに一人で歩くのは少し怖いと思った。

ゴールドコーストで友人が細い路地のトイレに一人でいった際、三人の若者に絡まれかけた。オーストラリアは日本よりドラックが広まっていると聞いた。シドニーへ行った際、道端で薬物をやっている二人を見かけた。

ゴールドコーストで人気の少ない場所のお手洗いに行った時に、薬物を使っている男性に絡まれました。トイレに行く時は、1人では行かずに、誰かと一緒に行くことを推奨します。

ホストファミリーから、ゴールドコーストの海は危険なので、フラッグの印があるところで楽しむようにと言われました。

どこでも盗難には遭うから、荷物の管理は気をつけた方がいい。

向こうは店が閉まるのが早いので市の中心部でも夜10時を過ぎると人が少なくなるため一人していると危ないのではないかと思った

ショッピングセンターのフードコートで裸足のホームレス生活をしているような人がお金がないか聞きに来た。私だけでなく、周りにいる人全員に聞いて回っていたが、急に知らない人が話しかけてきたからびっくりしたし、少し怖かった。

特にありませんでしたがホストマザーにあまり暗くなってから出歩かないようにと言われました。

友人のホストシスターが人工ビーチで荷物をすられたと言っていた

基本的には治安の良い場所だった

特になし

基本的にブリスベンは治安はいいと思います。でも、路地など暗いところがあるのでそこに夜の遅い時間に行かないほうがよいと思いました。

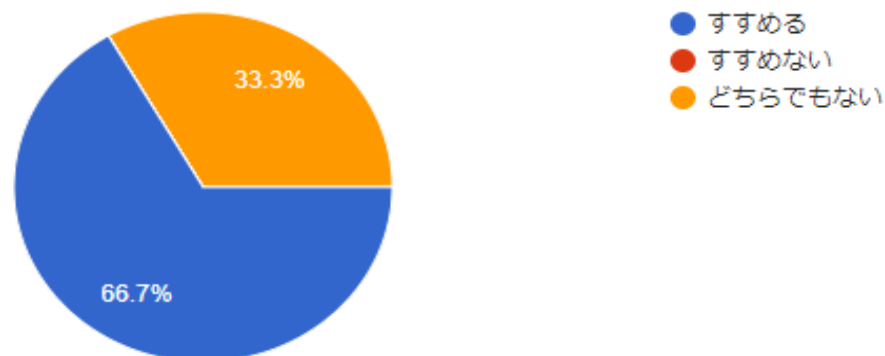
あまり夜遅くなると、街灯がないところもあるため、注意した方がよいと思いました。

夜のシティ

自分の住んでいた家の近くは街灯などがほとんどなく、夜は暗かったのでなるべく日が落ちるまでに帰っていた
街中においてある、電動スクーターは絶対にヘルメットをかぶって利用すべき。

40. 他の学生に、本プログラムへの参加をすすめますか？

24 件の回答



41. 上記の回答（「すすめる」「すすめない」「どちらでもない」）の理由を書いてください。

ブリスベンという場所はとても過ごしやすかった。授業内容もとても良い。しかし、大学の授業のタームが5週間なのに、立教生は4週間で帰ってしまうので最後まで授業を受けることができず、中途半端に終わってしまったことが残念だった。また、4週目にテストを行ったが、返される前に帰国してしまうため結果を知ることができない。最後までやり切りたい人にはおすすりできない。

いい点として、海外の環境にいられるため、授業中だけではなく、日常生活でも英語を話す機会が沢山あって、英語力と胆力を鍛えられる。そして、他の大学の人や他の国の人とも仲良くなれるので、自分の視野を広げられる。

良くない点として、授業内容が入試英語よりなので、難易度はあまり高くなく、日本でも受けられるので、ある程度の英語力を持っている人は退屈だと感じるかもしれない。さらに、この時期日本人の学生が多く、大体1クラス3分の2が日本人なので、どうしても英語ではなく日本語を喋る環境になってしまう。大学のアクティビティに置いても、参加者がほぼ日本人で、大学で英語を使う機会はあまりない。

以上を理由として、自分の英語力にあまり自信がなく基礎を固めたい方、日本語の環境に置かれても英語を話す機会を自分で作り出せる自信がある方にはおすすりだが、もっと高度な英語を勉強したい方には各学部のプログラムなどをおすすりする。

ブリスベンは特に面白いところがない

現地の学校プログラムを全て終える前に帰国するため

オーストラリアはとても居心地がよかった。料理も美味しい。自分はネイティブの人達の英語に触れ、自分の英語力の未熟さを感じたのでこれからもっと頑張ろうというモチベーションが上がった。

ホームステイも経験してみて分かった事が多かったので、長期を考えている人はもちろん、留学では学べる事が、本当に多いから。
いろんな国の人と関われるから
海外で1ヶ月過ごすというのは滅多にないことであるし、長期休暇期間中に留学に行けるというのは効率がいいと思ったから。
オーストラリアは治安が良いほうだと思いますし、気候も過ごしやすいのでお勧めできます。
東京だけじゃなく違う地域の友達ができる、違う環境に行くことで日本の豊かさなどに気付ける、新しい英語の知識を得られる、耳が英語に慣れてくる。
留学や英語に興味があり、金銭的に問題ないのであればこのプログラムはいい経験になると思うが、特に関心や興味がないのに参加しても散財するだけで意味がないと思うから。目的や意味を持って参加できる人たちが参加すればいいと思ったから。
とにかく充実していたから。学校では、クラスに日本人が多くなかったため色んな国のことを知れたり、ライティングが好きなのだが、ライティングスキルを伸ばすことが出来て満足している。私のレベルのクラスは課題やテストがあり、大変なこともあったが、ためになった。放課後や週末も積極的に活動したことで、多くの場所に行き、様々なことを体験することが出来た。
はじめでの留学で不安が多いが、何かに挑戦したいという人は、期間が丁度良いと思います。1ヶ月であるため、大幅な英語力向上は望めませんが、ホームステイをするため、必然的に英語しか使えない状況に置か、スピーキング力が伸びると思います。また、授業もアジア人が多く、お互いが第二外国語であるため、比較的英語が聞きやすいと思います。オーストラリアは、治安も気候も良いため、留学にとっても適していて、安心して過ごすことができます。
英語のモチベーションは上がるし文化の違いも知ることができて面白いとは思いますが、私の場合寂しさが勝ってしまったので途中で体調を崩してしまったので自分にしっかり責任がある人にならおすすめはできる。
ホームステイが自分の中ではとてもいい経験になった。家族と仲良くなるためにコミュニケーションをとらないといけないし街中でもわからないことが多く聞かないと何も始まらないため英語を喋る練習になった。また、一緒に行った立教生や現地の日本人と仲良くなれてよかった。
私はもっと英語を使う生活をしたかったが、どうしても日本人の友達と話す機会が多くて、思っていた以上に英語習得ができなかったから。ただ、一か月間違う国で滞在することで文化や考え方の違いを知ることができるのでそこは行ってよかったと思った。
英語を使うしかない状況だったため英語も少しは上達したと思うから。
英語に慣れる面ではとても良い機会だったし、色々な国の人と関わることができたから
程よい期間で、遊び・学問共に充実していたから
日本で過ごしているより、充実した春休みを過ごすことができたと思ったから。
環境がよくとても充実でき、貴重な経験を多くできたからです。
オーストラリアは素敵な国で、大学生で経験できるのは良いことだから。
費用が高いから
とても楽しめたし、英語力も向上した実感があるから。

42. 来年度参加者へのアドバイス

日焼け止めクリーム、水着、サングラスは持っていくべき。また、学校内はエアコンが効きすぎているので長袖の羽織るものを持っていった方がよい。オーストラリアは家にハエがいるので覚悟した方がよい。めちゃくちゃ虫に刺された。ムヒでも効果はあったの日本から虫刺され用の薬を持っていった方がよい。

- ・オーストラリアのシャンプーやボディーソープがあまり合わないので、余裕があれば持参した方がいい
- ・大学にはテニスコートやサッカーコート、ジムなどの施設が沢山あるので、運動好きな方は運動着と靴を持っていった方がいい
- ・オンライン英語学習という課題があるが、レベルが低い上やってもやらなくても成績に影響はしないので、それに時間を使うくらいなら外出してエンジョイした方が英語力が上がると個人的に思う
- ・正直授業はあまり当てにならないので、外出してオーストラリアを楽しむことで英語を使い英語を感じ、英語の環境に入ることによって英語力の向上が期待できる
- ・授業はあまりためにならないので、切りたい時は切ろう、その代わりに外出して何かのアクティビティを行おう
- ・カジノは良い社会勉強になるが程々にしよう
- ・カジノの前の「Communal Bar and Eat House」という店で日曜と月曜ステーキ10ドルキャンペーンをやっている、安くてボリューム満点のステーキを食べる絶好のチャンスだ
- ・案外英語がわからなくてもなんとか行ける、ノリと笑顔が大事
- ・「Urban Climb」というクライミングジムがおすすめ、初回登録すれば1週間無料期間がもらえて、その期間内に3回以上行けば更に1週間無料期間を追加してもらえる、ジムの中にトレーニングジムもついているので、クライミングと筋トレを同時にできる
- ・とにかく自然が豊かな国なので、虫や動物が特に多く、苦手な方は要注意
- ・水をとても大切にす文化があるので、シャワーに時間制限を設けている家庭がほとんど、行く前に時短シャワーを練習しておいた方がいいかもしれない
- ・水が大切な故に高いので、水筒を持参した方が経済的
- ・1ヶ月は長く見えるが一瞬で終わるので、時間を大切にしよう

タバコを吸っているとタバコを欲しがると人が喋りかけてくる。断ると暴言を吐かれたりするが気にしないほうがよい

虫除け、ムヒは持って行ったほうがいい

自分の考えをしっかりと持つことが海外では大切だと感じた。

現金不要。

バス代が意外とかかります

ホストファミリーがどんな家庭かは実際に現地に着いて一緒に過ごしてみないとわからないので、あまり期待しすぎないでいたほうが良いと思う。

日本から持参したもののの中ではノートパソコンを持って行って良かったなと感じました。大学の課題や作業をする際に使い慣れたパソコンでかつホームステイ先で作業できるのは大きなメリットかなと思いました。あと、毎日短くていいのでその日一日何があって何をしたのか日記をつけることをお勧めします。そうすることで4週間のあつという間感を少しだけ軽減できます。心構えとしては4週間は本当に短いので英語を勉強することはもちろん些細なことでも日本ではできないことをするのを心がけるといいと思います。

学校での冷房が寒いので、羽織ものやパーカーが必要。飲み物が全然ない家庭が意外とあるため、飲み物代が結構かかる。水筒があっても良いと思う。

基本的に天気は良く暖かく過ごしやすいので夏服で全く問題ないが、学校内は教室によってはエアコンが強すぎてとても寒いので上から着るものを余分に持っていった方がいいと思います。また、オーストラリアではプールやビーチに行く機会もあると思うのでビーチサンダルや水着の持参をお勧めします。自由時間は、買い物やお出かけ、Netflixを見て時間をつぶすなど何をやるのも自由ですが、出された課題も忘れないでください。クラスによっては思ったより多く、ガッツリした課題が出ます。他にも、ホストファミリーには自分の意思をしっかりと伝えることが大事だと感じました。嫌いなものがあったら伝えなければ、それが夕食にで続けたりして困るのは自分です。最後に、この短期語学研修は1ヶ月しかないので、放課後、週末、ただ家で過ごすのはとてももったいないです！是非、友達や現地の友達といろんなところに足を運んで楽しい充実した1ヶ月を過ごしてください！

レベルによってクラスの日本人の割合が全然違うので、多国籍な環境で勉強したい人はクラス分けテストの前に文法力を上げておくべきだと思う。私の教室はエアコンが強かったので、いつも長袖を着ていた。

課題をやる際は携帯電話やパソコンで翻訳アプリを使うことができますが、先生によっては授業中にスマートフォンの使用を禁止する場合もあるので、電子辞書を持っていくといいと思います。日本食が恋しくなることもあると思いますが、日本食レストランは市内にあるので、大量にインスタント食品を持っていく必要はないと思います。私はパックの日本茶を持って行って、丁度良かったです。

友人関係なども心配な人が多いと思いますが、留学で出会うからこそ、真の絆を築き上げることができます。皆が初対面で、学年、学部も異なるため、お互い良い影響を与えることができ、困った時は助け合います。私自身も最初は馴染めませんでした。最終的には現地で国内旅行に行く程の仲になり、別れがすごく寂しかったです。なので、研修前に知り合いが1人もいなくても、心配する必要は全くありません。

やることも限られてはくと思うし日本人の生徒が多いのであまり外国人と話す機会が少なかった。アクティビティには参加した方が面白いと思う。

シャンプー類は日本のものが合っていると思った。また4週間は短いので自分から積極的にホストファミリーや学校の友達に話しかけていかないと仲良くならないまま終わってしまうと思う。

家でもリビングにいてだけでホストファミリーが話しかけてくれるので自分の部屋にいるのはもったいないと思う。

英語を上達させたいなら先生や他国の留学生、お店の人など積極的に海外の人と話すべき。飲み物は高いので水筒を持って行ったほうがいいと思う。

水筒は持参した方が良いです。現地は水も高いし水筒も日本のものと比べると使いにくそうだと感じました。

自分から積極的に英語でたくさん話しかけることが一番重要だと思います。

サンダルは持っていくべきでした

水が高いので水筒を持って行って冷水機などで入れると金銭的に良いとおもいます

コテは持って行ったものの壊れてしまったので購入しましたが1500円ほどで買えました

行きたいと思ったところには全てに行ってみるべきです！

薄い上着、水着、ホストファミリーへの色々な種類のお土産を持って行った方がよい、その日あったことや思ったことを日記に書くとよい

洗濯を週に2回しかしないホームステイ先とかがあるので、服はたくさん持っていったほうがいいです。

日差しが強いので、サングラスがあった方がよいと思いました。また運動靴とサンダルもあるといいと思います。

1日1日が早く過ぎていくので、自分がしたいことなど考えて行動するとよいと思いました。

靴などはサンダルと運動靴があれば大丈夫。

必要なものは、全て現地で買えるので忘れ物があっても大丈夫だと思います。

全体的に立教生で固まりがちだったと思う。

自分から英語を話そうという積極性が大事だと思います

街中においてある、電動スクーターは絶対にヘルメットをかぶって利用すべき。英語に浸るべき。

43. 英語力について

英語で話しかけることに抵抗がなくなった。

日常会話の全般がもっとできるようになった、まだ聞き取れない時もあるが行く前と比べるとだいぶよかった。

学校で勉強する教科書英語だけではなく、もっとラフな英語も使えるようになった。

スピーキングはそこまでのびなかったが、リスニングはあがった

スピーキング、リスニングの力は向上したと感じている

英語を話すことに対して度胸がついた。

意外と、伝えられるし、わかってくれる。

ライティング力が上がった

海外のテレビ番組を毎日つけていたので、リスニングの能力は上がったように思われた。

英語を聞く・話すの両方において少し向上したと感じました。

聴くことに慣れてくる。英語で話すことに躊躇しなくなる。
簡単な会話なら自分の言いたいことも考えることなく言えるようになった、また耳が慣れて聞き取るのもそんなに難しく感じなくなった。
相槌の種類が増えたと思う。アジア圏の人の発音の癖が強いが、一か月一緒に授業を受けたことで聞き取れるようになった。ホームステイ先でもその日あったことや、日本のことについて自分から話しかけて、英語を話す機会を作るようにした。ライティングでは、授業で何度も扱ったり、課題やテストが何度かあったので、力が着いたと思う。
ホームステイをしたことが1番効果的だったと思います。自分の意思を伝えること、ホストファミリーからの伝達を理解すること、たわいもない雑談を楽しむこと、頼みごとをしたり質問をすること、毎日毎日必ず英語が必要であるため、スピーキング力とリスニング力が身につきます。それと同時に、伝わらないことや聞き取れないことのもどかしさも感じるため、自分の英語力に何が足りないのかに気づくことができます。
授業は、先生がとても丁寧であるため、基本的に理解できないことや聞き取れないことはありませんでした。日本の授業との1番の違いは、相談をする時も英語を使わなくてはならないため、翻訳することなく、英語を日本語に変換して考えるのではなく、英語を英語のまま理解できるようになります。辞書を使わないことも新鮮で、分からない単語は他の言葉で補う力も身につきます。
1ヶ月という短い期間ですが、熱心に取り組めば、毎日毎日小さな英語力の進歩があり、急成長を感じるすることができます。
書く力はついたと思う。
到着した最初の方は言うことが理解できなかったが徐々に理解できるようになった。
話す方は短い文は瞬時に言葉に出るようになった
リスニング力はついた。
話す言葉も聞く言葉もすべて英語のため上達はしたと思います。どんどん聞き取れるようになった気がしました。
聴くことには慣れましたが、話すことはそこまで上達できませんでした ただ、英語に対してのモチベーションが上がりました。 英語を話すことへの抵抗は減りました。
耳が慣れてリスニング力がついたと感じた
初めはホストの方と話すときも、聞くだけで精一杯で会話というより聞いている時間の方が多かったのですが、時間が経つにつれて、しっかり聞き取ってそれを答えられるようになっていき、普通の会話ができるようになっていきました。ホストの方にも英語力が向上すると褒められました。なので、英語力を上げる1番の効果的な方法はホストの方と積極的に話すことだと私は思いました。
ホストファミリーの方の英語が少しずつ分かるようになりました。聴きとる力は始めに比べてついたと思います。
正直、自分の英語力は上がったとは思わない。中高に習ったことを思い出す程度ではあったがリスニングはできるようになった。
そんなに大きな変化はないが、少し英語を聞き取る力はついたと思う。
英語も聞き取りやすくなるし、話す際にも今まで使えなかった言い回しなどができるようになる。
44. 研修を通じて発見したこと、学んだこと、自分が成長したと思う点など
自分自身で調べ、その場所に行くという体験を通して、行動力が身についたと思う。
英語を話す勇氣と自信がついた。そして案外自分の性格は海外の空気を読まずに何でも言えて、自己表現を大事にする文化の方に合うと再認識して、外資系企業を中心として就職活動を進めていきたいと思いを固めた。そして何より、他の大学と国の友人ができたことが一番の収穫だと思う。
リスニングがのびた
どんな環境でも適応できる
英語での会話に対する抵抗が少なくなった。
オーストラリアでは、周りの人を気にしない人が多いので、気分は少し楽だった。
いらぬことを聞き流すことも大切だと感じた。気にしすぎて、無駄に苦しむ必要はない。
自律的に考えははっきりと意見が言えるようになった

ホストファミリーと暮らすことで日本での暮らしとの違いを体感することができた。食事、洗濯など身の回りのことを積極的にするようになった。
生活の仕方や食べ物など日本との文化的な違いが新しい発見でした。
日本の過ごしやすさや便利さを実感した。オーストラリアの人は親切な方が多くいる。英語を聞く能力や積極的に話す勇気がついたらと感じる。自己管理能力がついた。
研修中のホストファミリー、先生、店員さんたちとのコミュニケーションを通して自分の英語力をより実践的なものにできたと思う。また、学校の授業ではアカデミックな内容に特化した文章構造、文章の書き方を学ぶ事ができた。生活面では、日本と全く違う現地の生活リズムを体験し、様々な人に出会う事ができた。出会う人全員が優しく気さくで、一ヶ月の生活を通して人と関わることの大切さや違う国の文化や考え方に触れる事ができて、自分の世界を少しではあるが広げる事ができたと思う。
一つ目は積極的になったことです。間違いや発音を気にせず授業中発言することや、ホストファミリーに話しかけるようにしました。聞き取ろうと、理解しようとしてくれたり、ホストファミリーからも様々な話題の話をしてくれたりするようになりました。二つ目は、嫌なこと、好きではない物について、自分は好きでないと伝えるようにしたことです。わがままとかではないので、ホストファミリーも理解してくれ、とても過ごしやすくなりました。最後に、今までペット嫌いだったのですが、ペットがいるという環境も受け入れて苦手克服を目標にしました。嫌いだという理由だけでホストファミリーを変えず、苦手から逃げなかったことで、ペットを避けることがなくなりました。
私の本研修における目標は、自分に自信をつけることでした。留学を通して、私はその目標を達成することができたことを胸を張って言うことができます。人間は困難に立ち向かわないと、成長することができません。本研修は、想像していなかったハプニングがいくつも起きました。それを自分1人で解決しなくてはいけない場面がたくさんあり、孤独を感じながらも、乗り越えた先には達成感と充実感がありました。思いがけない自分の長所に気づいたり、日々できるようになることが増えたりと、自分のこの先の自信に繋がる経験をたくさんすることができました。もちろん英語力向上も留学の大切な意義ですが、人として成長できたことで、これから先多くのことに挑戦したり、高い目標を持つことができると思います。
割り切りが良くなったり、あまりくよくよしたりしないなど、心の変化が大きかった。
いろんなバックグラウンドを持った人が世界にいること。そういった人たちと友達になるためにもっと英語が話せるようになりたいと思った。自分が成長したと思う点はコミュニケーション能力が上がったと思う。自分から積極的に動いていかないとあっという間に時間が過ぎてしまうので行動力も上がったと思う。
研修を通して英語ができるようになったというよりも、どうやったら英語を上達させられるのかを深く考える機会になった。今回は初海外だったので最初はもの一つ買うのにも緊張していたのに最後のほうには頼むこともできるようになったし、店員さんと少し会話できるようになった。
オーストラリアの方はみなさん優しいのでとにかくたくさん話しかけることが英語の上達に役立つと感じました。
研修はじめよりホストファミリーなどに対して自分の気持ちをはっきり言えるようになりました。
何かが起きても自分力で何とか解決しようという姿勢が身についた、うまく英語が伝わらなくても根気強く話すことや必死に聞くことができた、生活リズムが格段に良かった
様々なことに挑戦する気持ちが大切だと思いました。1人で海外でショッピングするなど留学すると初めての経験ばかりでした。なので何事もやってみる気持ちが必要だと思いました。
1人でも色々な場所に行ったり、行動力がついたらと思います。英語を話すことへの抵抗もなくなってきたと感じました。
リスニング力はつきました。
日本とオーストラリアの文化の違いを学んだ。
諦めずに頑張っ、拙い英語でも伝えようとするのが大切だと学んだ
物事をもっと広い視野で見るようになったし、海外への慣れを感じる。世界との距離感が少しだけ縮まった気がする。